

会 議 録

(1 / 1 7)

会 議 の 名 称	令和7年度 第1回坂戸市スポーツ推進審議会
開 催 日 時	令和7年6月23日(月) 午後3時00分 開会 ・ 午後4時28分 閉会
議長(委員長・ 会長の氏名)	横田 恒雄 会長
出席者(委員)の 氏名・出席者数	鞠子佳香副会長、石井昭子委員、小熊三矢子委員、 池田一夫委員、藤原亮治委員 計6名
欠席者(委員)の 氏名・欠席者数	東海林毅委員、小鮎俊郎委員、白鳥優花委員、 計3名
事務局職員の 職・氏名	教育委員会 太田教育長、三田教育部長 スポーツ推進課 清水課長、佐藤課長補佐、茂木主任、小野寺主任
会議傍聴人	なし
会 議 次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議 題</p> <p>(1) 協議事項</p> <p>ア 第2次坂戸市スポーツ推進計画実施計画(案)について</p> <p>(2) 報告事項</p> <p>ア 令和6年度坂戸市スポーツ推進計画の取組状況について</p> <p>イ 市民総合運動公園プール休止について</p> <p>ウ 大会等の結果について</p> <p>(ア) 第24回坂戸市民スポーツフェスティバル開催結果について</p> <p>(イ) 第38回県民総合スポーツ大会兼第42回坂戸市レクリエーションスポーツ大会結果について</p> <p>(ウ) 第3回坂戸市パラスポーツふれあい交流会開催結果について</p> <p>(エ) 第38回わんぱく相撲西入間大会坂戸場所開催結果について</p> <p>エ 大会等の開催予定について</p> <p>(ア) 第38回県民総合スポーツ大会兼第10回坂戸市ラケットテニス大会について</p> <p>オ 関東大会、全国大会の結果について</p> <p>4 閉 会</p>
配 布 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 資料1～9

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議 題</p> <p>(1) 協議事項</p> <p>ア 第2次坂戸市スポーツ推進計画実施計画(案)について</p> <p>今回の案については、庁内策定・推進会議に諮り、前回示した取組内容や、令和15年度末の目標等を一部加筆修正し、教育委員会以外の令和7年度予算額等を組み入れたものとなっており、資料は1から51ページまでとなる。</p> <p>資料4ページは、実施計画の取組み方についてまとめたものとなっており、1番目に第2次坂戸市スポーツ推進計画実施計画の概要を記載し、以下に2の計画期間、3の実施計画の構成、4に実施計画の主な特徴、5に計画の進捗管理をそれぞれ記載している。</p> <p>まず概要について、今回作成中の実施計画については、坂戸市のスポーツ振興を図ることを目的として策定した第2次坂戸市スポーツ推進計画を、より実効性のあるものとするための実施計画として、策定が始まっている。</p> <p>推進計画の基本理念である「スポーツに親しみ、健やかな心身と絆を育むまちさかど」の実現に向けて、スポーツ推進課並びに庁内外関係課等が実施する様々な取組をもとに実施する具体的な事業、3年間の実施計画等を今回の取組の方に記載している。</p> <p>計画期間については、推進計画と同期間とし、令和6年度から15年度までの10年間となっているが、推進計画は前期と後期5年ずつに分かれているため、令和10年度には本実施計画についても、併せて見直しを行うことを予定している。</p> <p>計画の構成については、取組ごとの成果目標や達成に向けてのスケジュールや裏付けとなる予算等を掲載している。</p> <p>主な特徴として、推進計画では三つの基本目標に対して、五つの重点事業を定めている。</p> <p>計画期間の前期5年間では、主にスポーツに親しんでいる様々な世代への取組を強化して、さらに発展していくための期間とする形で位置づけしている。</p> <p>また、施策については、重点的に取組むことで発展を望むとともに、他の取組にも良い影響を与えられるものを今回重点事業として設定している。</p> <p>5番の計画の進捗管理については、坂戸市スポーツ推進審議会等で報告して、必要に応じて改善策等の提案を委員からいただきたいと考えている。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>提案された情報等については、関係各課等と情報の共有を行うとともに、次年度以降の事業の計画や具体的な施策の改善に繋がるように進めていきたい。</p> <p>資料6 ページは施策の体系図となっており、色分けを行うことにより、基本目標や施策、取組が視覚的に理解できるような形とした。</p> <p>全45の取組があり、各年度に強化する取組を記載しているが、学校指導に限らず毎年継続して実施する取組も多いため、該当年度に特別な事業が出来ないこともあるため、御理解いただきたい。</p> <p>次に個別の取組について、例としていくつか説明させていただくが、資料10 ページに取組2 小・中学生期(7～15歳)におけるスポーツの充実について掲載している。</p> <p>なお、下段の予算・実施計画事業内容で、市民総合運動公園管理事業については9ページと全く同じ内容で掲載しているため、赤字で再掲と記載した。</p> <p>また、最下段に3月18日開催の令和6年度第4回坂戸市スポーツ推進審議会時にはなかった子ども文化・スポーツ団体健全育成補助事業を新たに追記した。</p> <p>こちらについては、庁内策定推進会議の意見に基づき追記している。</p> <p>資料11 ページは、取組3 成人期のスポーツ活動の推進について記載している。</p> <p>市民健康センターの取組内容を加筆し、併せて、令和5年度までの取組状況、令和15年度末の目標も加筆し、健康増進事業の予算等を追加している。</p> <p>以上3組の取組について説明したが、実施計画素案の取組については、9ページから15ページまでの取組2、取組3、取組4、取組5、取組6、取組7、22ページから取組14、取組15、27ページの取組19、45ページの取組37の合計、10の取組を変更した。</p> <p>先程も説明したが、前回の素案からの主な変更点は、予算案・事業費等の追加となる。</p> <p>また、取組3では、取組内容と成果目標に一部追記、取組19では取組内容の一部を修正している。</p> <p>前回からの変更点については、以上となる。</p> <p>順序が逆となるが、資料6 ページは、今後、示したスケジュールに基づいて実施計画を進めていく予定となるが、翌年度の審議会で進捗状況を報告し、必要に応じてご意見や改善策の提案をいただきたいと考えている。</p> <p>提案いただいた情報は、関係各課等と情報を共有し、次年度以降の事業の計画や施策の改善に繋げていきたいと考えている。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員	<p>(質疑、応答)</p> <p>よく整備されているとは思いますが、毎年、事業を計画通りに実施して、6年度、7年度と進んでいくと考えられるが、6年度に実施した事業に対して「評価」はされるのか。</p> <p>職員は専門職であることから、それぞれの事業の評価というものを、例えばABCで評価するならAというような、評価をするという形を取られる計画がよくある。審議会の意見を聞くのも当然だが、実施した成果がどうだったかということの評価しないと、次のステップに進んでいかないと思われる。</p> <p>すごく網羅的に作成されているとは思いますが、良い計画ができて、その部分がどう事業に生かされたか評価しないと、次の計画を作るにあたって、その反省として生かされないと私は思っているが、事務局はどのように考えているのか。</p>
事務局	<p>このことについては、基本的にPDCAサイクルでの評価を考えている。今後、機会を作って報告したい。</p>
事務局	<p>(令和6、7年度の進捗状況について)</p> <p>資料7ページに記載している5手軽なスポーツの推進については、昨年度よりレクリエーションスポーツ協会やスポーツ推進委員の事業として「モルック」の体験会を実施している。</p> <p>13部活動の地域連携・移行等の推進については、坂戸市では国等の動向を確認して進めていく予定だが、令和8年度以降の見込みである。</p> <p>14パラスポーツ大会等の実施については、6月にパラスポーツふれあい交流会を実施した。</p> <p>また、10月には東京2025デフリンピック応援手話言語メッセージリレーへ市長が参加し、動画を発信している。</p> <p>35情報提供体制の拡充については、X(旧ツイッター)やインスタグラム、フェイスブック等のSNSで市主催の大会情報の発信を始めたほか、坂戸市体育協会で作成中など拡充に努めているところである。</p> <p>38地域交流センターの管理・運営については、センター自主事業及び体育協会支部として様々なスポーツの事業を実施している。</p> <p>令和6年度は以上となる。</p> <p>続いて、令和7年度の進捗状況だが、4高齢期のスポーツ活動の推進については、市民総合運動公園や健康増進施設での自主事業のほか、高齢者福祉課や地域交流センターによるグラウンド・ゴルフ大会等の事業を実施又は予定している。</p> <p>10部活動指導員及びクラブサポーターティングスタッフの活用等による指導者の確保については、昨年度より2名増となっている。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>15 障害者のスポーツ活動への支援体制の整備については、スポーツフェスティバル等のイベント時にデフリンピックブースの設置に協力するほか、障害者福祉課では県障害者スポーツ協会への負担金支出を行うことにより間接的な支援を行っている。</p> <p>17 市民総合運動公園の管理・運営については、市教育委員会と指定管理者により適切に事業を進めるとともに、今年度は大体育室等耐震改修等工事を実施予定であり、施設を維持するための工事や修繕を実施していく。</p> <p>25 スポーツ団体の活動支援については、体育協会、レクリエーションスポーツ協会への支援を継続していく。</p>
会長	報告があったが、委員から評価を付けてほしいという意見であったため、報告と併せて、評価を報告の時に資料として提出してほしい。
事務局	承知した。
事務局	<p>(2) 報告事項</p> <p>ア 令和6年度坂戸市スポーツ推進計画の取組状況について</p> <p>資料54ページの1 スポーツ活動の推進について(1) スポーツ教室の開催状況について説明する。</p> <p>①市民総合運動公園については、指定管理者であるさかどスポーツパートナーズが自主事業として、16種類の教室等を開催している。</p> <p>主な事業として、小学生以上を対象としたテニススクール(延べ5,389名)や幼児～小学生を対象とした体操スクール(延べ1,203名)、新体操スクール(延べ1,757名)等、延べ参加者数の合計は12,922名であり、令和5年度に比べ7.7%の減少となった。</p> <p>②健康増進施設については、指定管理者のミズノ・セイホクススポーツグループが自主事業として、36種類の教室等を開催している。</p> <p>主な事業として、プール教室(延べ1,976名)や幼児～小学生を対象とした体育スクール(延べ1,589名)、卓球スクール(延べ980名)等、延べ参加者数は13,847名であり、令和5年度に比べ4.6%の減少となった。</p> <p>55ページは、(2) スポーツ大会等の開催状況についてとなっている。</p> <p>令和6年度については、①第23回坂戸市民スポーツフェスティバルを令和6年4月29日に坂戸市民総合運動公園及び勝呂地域交流センターを会場に、4,515名の参加により実施した。</p> <p>今回から模擬店のほか、キッチンカー6台を出店し、併せて一般来場用駐車場として坂戸、鶴ヶ島下水道組合石井水処理センターの駐車場を開放した。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>②第2回坂戸市パラスポーツふれあい交流会を令和6年6月9日に坂戸市民総合運動公園を会場に、142名の参加により実施した。</p> <p>本交流会は「障害者と健常者の親睦を深めること」をテーマとして開催しており、参加者は合計6種の競技を体験された。</p> <p>③第9回坂戸市長旗関東古希軟式野球大会を令和6年7月2日から5日の間、坂戸市民総合運動公園を会場に24チームの参加により実施した。</p> <p>坂戸古希野球クラブが2年連続で優勝となった。</p> <p>④第20回坂戸市長旗関東還暦軟式野球大会を令和6年9月14日から9月18日の間、坂戸市民総合運動公園を会場に32チームの参加により実施した。</p> <p>大会は3日目、準々決勝第2試合終了直後の豪雨により中止となり、坂戸還暦野球クラブはベスト4という結果で大会を終えている。</p> <p>⑤第23回坂戸市民チャリティマラソンを令和6年11月17日に坂戸市民総合運動公園を会場に、5種目25部門1,592名の申し込みにより実施した。</p> <p>3km一般男女を新設し、3km一般男子・同一般女子・10km50歳代の3部門で新記録が誕生している。</p> <p>⑥その他の大会等については記載のとおり。</p> <p>(3) スポーツ団体等の育成・支援状況について、①坂戸市体育協会の事業については、坂戸市体育文化の進展向上を図ることを目的とし、9支部、17競技団体、4団体連絡協議会の全30団体への助成を行った。</p> <p>総事業数は391事業で、令和5年度から7事業の減となった。</p> <p>②坂戸市レクリエーションスポーツ協会の事業については、レクリエーションスポーツ活動の健全な普及、発展を図り、健康で豊かな市民生活の向上に寄与することを目的とし、全6団体への助成を行った。</p> <p>総事業数は90事業で令和5年度から2事業の減となった。</p> <p>③各種スポーツ大会出場費補助事業については、72件の申請があり、令和5年度の申請に比べ27件増加となった。</p> <p>④子ども文化・スポーツ団体健全育成補助事業については、市内を中心にスポーツ活動をしている市内在住の小学生が5名以上いる団体に最大2万円の活動費補助を行った。</p> <p>令和6年度は11件206,350円の助成を行った。</p> <p>(4) スポーツ施設の利用状況について、①市民総合運動公園については、53,058件、延べ利用者数が合計220,567名となった。</p> <p>令和5年度に比べ6.4%の利用者増となった。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>②健康増進施設については、56,588件、延べ利用者数が合計78,777名となった。</p> <p>令和5年度に比べ1.8%の利用者減となった。③運動公園（都市公園）については、3,674件、延べ利用者数が合計71,809名となった。</p> <p>令和5年度に比べ3.6%の利用者増となった。</p> <p>④学校体育施設については、学校体育施設開放利用状況としては、利用団体114団体、利用人数2,551名となった。</p> <p>若宮中学校運動場夜間照明施設の利用状況については、夜間照明施設の故障により利用日数は0日。現在利用再開に向けて工事を実施しているところであり、10月に利用再開の予定となっている。</p> <p>光熱水費（電気料）1,724,415円については、電気料金のうち基本料金を若宮中学校と折半していることによる支出となる。</p> <p>2子どもの体育スポーツの推進について（1）学校体育の充実①新体力テスト評価結果について説明する。</p> <p>新体力テストの種目は握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・持久走又はシャトルラン・50m走・立ち幅とび・ボール投げの8種目を行い、年齢と種目の記録に応じて点数化し、8種目の合計によりAからEの5段階で評価するものである。</p> <p>令和6年度については、イ推進計画目標値との比較に記載している上位3段階の評価が、令和5年度の小学生合計78.2%から77.9%と微減、中学生合計79.1%から77%と2.1ポイントの減少となった。</p> <p>坂戸市の推進計画目標値の基準値85.0%と比較した場合、小学生合計は7.1ポイント下回り、中学生合計は8ポイント下回る結果となった。</p> <p>要因については、コロナ禍以降の生活様式の変化や高温化による運動量の減少が影響していると考えられる。</p> <p>埼玉県スポーツ推進計画との比較については、一部訂正がある。</p> <p>坂戸市の令和6年度目標値が小学生、中学生とも80.0%となっているが、正しくは令和5年度と同じ85.0%である。</p> <p>（2）学校等における運動部活動の充実について①中学校種目別運動部活動設置状況については、クラブサポータースタッフ、部活動指導員は、中学校の部活動の指導者不足に対応するため、教員の代わりに委嘱された方であり、令和5年度は、合計32名で3.2%の増となった。</p> <p>3スポーツ環境の整備と充実について、（1）市民総合運動公園については、令和4年度から市民総合運動公園指定管理委託をさかどスポーツパートナーズへ5年契約で委託しているところである。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>①委託業務については、主に、指定管理委託のほか市民総合運動公園第一多目的運動場観客席設置工事設計業務委託及び同監理業務委託の3件を実施した。</p> <p>②修繕については、市民総合運動公園軟式球場側溝修繕ほか計3件を実施している。</p> <p>修繕内容については、腐食による傷みのため側溝の蓋を新しくしたもの。</p> <p>また、市民総合運動公園に2か所あるシャワールームのガス給湯器を更新した。</p> <p>③工事については、市民総合運動公園第一多目的運動場観客席設置工事を実施した。</p> <p>この工事により第一多目的運動場に隣接する南側駐車場に120席の観客席を設置した。</p> <p>④備品購入については、市民総合運動公園草刈機及びスポーツトラクタ等の購入を実施した。</p> <p>⑤機器等借上（健康増進施設含む）については、坂戸市民総合運動公園・坂戸市健康増進施設トレーニング器具等借上（リース）を実施したが、9月末に満了となった。</p> <p>内訳としては、市民総合運動公園2,699,628円、健康増進施設1,329,672円となる。</p> <p>このうち市民総合運動公園については、10月から再リースを実施した。</p> <p>（2）健康増進施設については、健康増進施設指定管理委託をミズノ・セイホクスポートグループへ令和6年度から5年契約で委託しており、初年度となる。</p> <p>①委託業務については、指定管理委託料1件となっている。</p> <p>また、健康増進施設トレーニング機器の再リース分については、指定管理の更新に合わせて、指定管理委託料に含んだため、資料へ記載されなくなった。</p> <p>②修繕については、健康増進施設非常用照明器修繕ほか計2件を実施した。</p> <p>内容については、非常時に出口へ誘導する照明器が寿命を迎えたため、修繕を行った。</p> <p>（3）河川敷等の運動公園について①委託業務については、高麗川ふるさと広場、東和田、北入西、厚川鶴舞、萱方及び西坂戸運動公園の、施設管理上必要な経常的経費が主なものとなる。</p> <p>この他、西坂戸運動公園については7月24日に発生した突風により折れた枝の撤去や立ち枯れした桜1本の伐採、厚川鶴舞運動公園については、冬季に簡易水洗トイレが凍結により使用できなくなったため、一時的に撤去する委託を実施した。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>②修繕については、西坂戸運動公園防球ネット修繕ほか計2件を実施した。</p> <p>(4) 学校体育施設について①委託業務については、若宮中学校運動場夜間照明施設改修工事設計業務委託を実施した。</p> <p>②工事については、若宮中学校運動場夜間照明施設改修工事を実施しており、こちらは年度を繰越して施工しているところである。</p> <p>契約金額の総額は6,223,800円となるが、前払金を支出した。</p>
各委員	質疑・意見なし。
事務局	<p>イ 市民総合運動公園プール休止について</p> <p>市民プールは昭和54年の開設から40年以上が経過し、管理棟、プール槽やプールサイド、プール水を循環させるポンプ類など、多くの箇所で老朽化が進んでいることや、新型コロナウイルス感染症対策のため、休止していたことにより、より一層の老朽化が進んだことに伴い、施設を安全に利用するためには多額の費用を要することから、今年度も引き続き、市民プールの開設は困難な状況である。</p> <p>以上の状況を勘案し、令和7年度の市民プールについては、市民の生命・安全を第一に考え、昨年度に引き続き休止することを令和7年5月28日に決定した。</p>
委員	<p>(質疑・応答)</p> <p>市民プールをずっと休止にしているが、あれだけの広い敷地がある中で、新たに作るというのは難しいにしても、何か再利用する方法というのは検討していないのか。</p> <p>コロナの前からずっと使っていない。私もあそこウォーキングしているためよく通るが、もったいないと思う。</p> <p>新たに作るのは費用が掛かるため出来ないと思うが、なにか検討した方がいいと思う。</p> <p>あれだけの施設で利用価値があるところであるため、是非、お願いしたい。</p>
事務局	<p>今回、6月議会の中でも、議員より川越水上公園で実施しているようなプールフィッシング釣り堀やスケートボードパークにしてはどうかと、質問されている。</p> <p>プールとして、もう一度開場するにも費用が掛かる、新しく何かを始めるためにも費用が掛かるが、今年度は大体育室等の耐震工事で4億円の費用が掛かるところで、予算的に厳しい状況であるため、今後、研究していきたい。</p> <p>今後とも色々な方からご意見をいただき、どのような形にしていくのがよいか研究していく。</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>ウ 大会等の結果について</p> <p>資料69ページは(ア)第24回坂戸市民スポーツフェスティバルの開催結果について記載している。</p> <p>令和7年4月29日に坂戸市民総合運動公園にて、昨年度に引き続き第24回坂戸市民スポーツフェスティバルを開催した。</p> <p>当日は6,907名の参加者のもとオープニングセレモニー、スタンプラリー、元NHKテレビラジオ体操アシスタント根本先生によるラジオ体操、サッカー元日本代表永井選手によるプロスポーツサッカー体験、ダンスパフォーマンス、支部対抗綱引き大会を行った。</p> <p>大会当日の怪我人等が2名(※手の傷1件78歳、膝の擦り傷1件3歳)あったが、軽症であり大事には至っていない。</p> <p>また、今年度はキッチンカー10台が出店し、来場者数の増につながる一因になったと考えている。</p> <p>71ページは、(イ)第38回県民総合スポーツ大会兼第42回坂戸市レクリエーションスポーツ大会結果について記載している。</p> <p>令和7年6月1日に市民総合運動公園トレーニング室前の南側芝地において、坂戸市レクリエーションスポーツ協会の事業である第38回県民総合スポーツ大会兼第42回坂戸市レクリエーションスポーツ大会が開催された。</p> <p>当日は、一般27名、会員9名に来賓、役員を加え12チームの参加となり、大会結果については記載のとおり。</p> <p>資料73ページは(ウ)第3回坂戸市パラスポーツふれあい交流会の開催結果について記載している。</p> <p>令和7年6月8日に市民総合運動公園大体育室及び小体育室において、第3回坂戸市パラスポーツふれあい交流会を開催した。</p> <p>当日の参加者は113名、大体育室では、車いすバスケットボール、ボッチャ、玉入れ、マイムマイム、小体育室では、サウンドテーブルテニスを行った。</p> <p>資料75ページは(エ)第38回わんぱく相撲西入間大会坂戸場所の開催結果について記載している。</p> <p>令和7年5月25日に市民総合運動公園大体育室、小体育室及び相撲場において、第38回わんぱく相撲西入間大会坂戸場所が開催された。</p> <p>当日は75名が参加し、5歳から小学6年生までの男女計14部門で実施された。</p> <p>大会結果については、資料に記載のとおり。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員	<p>(質疑・応答)</p> <p>パラスポーツふれあい交流会には、私も子供を連れて一緒に参加した。</p> <p>総参加者は60名のうち障害者およびその関係者が43名、障害者1人の方につき1人介護者が付くことを考えると、介護者の方が20名前後参加された状況かと思われる。</p> <p>坂戸市で障害者手帳を持っている人の総数が2,700人ということを考えたときに、そのうちの20人の参加となると、参加者の規模や周知において、かなり課題が残ることに加え、全体を通してすごく寂しい印象を受けた。</p> <p>当然、環境を整えていただいた、スポーツ推進委員の方々については、非常に温かい関わり方をされたが、目標として15年後に事業内容の充実を図るということや、障害の有無に関わらずスポーツを通じて親睦と相互理解が図られるようなゴールをイメージするならば、今の状況から改善を行うことは、必須だと感じる。</p> <p>スポーツフェスティバルの参加者が6,000人を超えており、その中に何名程度障害を持ってる方がいたのか、その障害の理解にあたって、スポーツは競技スポーツだけではなく、レクリエーションスポーツのような広く長く続けていけるスポーツもあるということ、今の小中高含めて、子ども達がスポーツの多様性、多元性といったものを理解する機会がカリキュラムの中に入っていない現状となっている。</p> <p>私が高校でやっていた取組がまさにそこで、現状地域の活動や体育の授業を含めて、そこに対する子ども達のスポーツに対する概念が広がっていくような状況は見られていない、どちらかというと、昭和から変わらない価値観がずっと継承されているように子ども達も感じているのが現状となっている。</p> <p>スポーツが人格形成のツールにされていて、もっと自由なものであるはずのものがそうならない状況というものに対して、今の形でこの事業が継続で進められていくとなると、イメージしているゴールに到達するのは到底難しいというのが、私自身がここ10年、そのような活動を続けて、学校内外や地域の中に参加し、感じるところである。</p> <p>3年前にも検討を依頼したが、このスポーツフェスティバルとパラスポーツ交流会を合体させて、さらに拡充した際、一般参加者に対する周知と、そこに対する対応策は、当然スポーツ推進委員だけの力ではなく、大学、近隣の学校、高校生又は中学生を巻き込みながら実施することも、必要ではないかと私自身は考えている。</p> <p>スポーツで地域を作ることを考えるのであれば、さらに多様な人を巻き込んでいくことも必要だと考える。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>今回のパラスポーツ交流会の開催前に、市内の全小中学校の保護者へメール配信をして周知を図っている。</p> <p>さらに、近隣小学校については、全児童にチラシを配布し、一般参加の来場を期待したが、当日の一般参加は非常に少ない状況であった。</p> <p>一般の方々に車いすを体験していただくなど、障害者の方の立場を理解するということは大変重要だと認識している。</p> <p>今、提言いただいたとおり、4月29日に小学生も大勢来場するスポーツフェスティバルがあるため、このスポーツフェスティバルと合同開催ができないか、当日も福祉部の担当職員と情報共有をしたところである。</p> <p>次回以降の合同開催に向け、実行委員会等で詳細について協議していきたいと考えている。</p>
事務局	<p>エ 大会等の開催予定について (事務局説明)</p> <p>(ア) 第38回県民総合スポーツ大会兼第10回坂戸市ラケットテニス大会について説明する。</p> <p>令和7年7月6日に市民総合運動公園大体育室において、第38回県民総合スポーツ大会兼第10回坂戸市ラケットテニス大会を開催する。</p> <p>当日は、24チームが参加し、ゲームを行う予定となっている。</p>
各委員	質疑、意見等なし
事務局	<p>オ 関東大会、全国大会の結果について (事務局説明)</p> <p>資料79ページは令和6年度各種スポーツ大会全国・関東大会出場者について記載している。</p> <p>前回の審議会からR7年3月31日までに結果報告があったものを申請順に80から81ページに全国大会、82ページに関東大会を掲載した。</p> <p>ソフトテニス・サッカーを中心に、活躍した選手の実績となっている。</p> <p>80ページ全国大会小学生のNo.1第43回JSUB全日本スノーボード選手権大会KENBIKI CUP U-12において南小の山口来夢(らいむ)さんが男子8位という結果となった。</p> <p>また、No.2第24回全国小学生ソフトテニス大会において入西小の根本悠誠(ゆうせい)さんが4位トーナメント優勝という結果になった。</p> <p>82ページ関東大会高校生以上のNo.1第78回国民スポーツ大会関東ブロック大会サッカー競技で田畑風侑(ふあり)さんが埼玉県代表として出場し成年女子Aブロック1位という結果となった。</p> <p>その他の大会結果等の詳細は記載のとおり。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
各委員	質疑、意見等なし
委員	<p>(その他について)</p> <p>部活動の件について現状、令和8年以降から国の動向を確認して検討という話があったが、今の形であれば学校活動を中心とした運営を軸にしながら、外部指導者にスポットで依頼する形が継続されていくのかと考えられる。</p> <p>それに対し、学校の先生は流動性が高いため、7年程度で別の学校へ移っていく現状の中で、これまで培った土着の文化を個人の学び直しで変えていくことは難しいという案件がずっと続いている。</p> <p>部活動や学校教育もそうだが、根本にあるものは、我々自身がずっと育ち、育ってきたものの再生産で、言動のような形が続く中で、より競技性の高くなってきているスポーツだと、過去の価値観の再生産がより強く現れるケースがこの2ヶ月の中でも保護者の報告又は相談で話が出てきている。</p> <p>実施計画の中に、ハラスメントの防止に関する事で、スポーツ指導者の育成が支援体制の充実の中で軸となる年度があるが、基本的にはそこだけで物事が動くわけではなく、9年間をかけて育成していく枠組みの中で、例えば、障害を理解した体育事業の充実であるとか、ハラスメント根絶に向けた研修の充実というようなものが重点年度を迎える中で、学校教育でスポーツに関わる人たちに対し、どの程度研修を充実させられるか、どの程度行政からの支援を考えるのか、コンテンツをポンと作って「やってください」というものではなく、しっかりと有機的に還元されていく政策が実行されて、最終的にこれから未来を生きていく子ども達の新しい文化又は文化の礎になる形をどのように模索していくかという内容が見えにくいと思われる。</p> <p>具体的に言うと、この指導者養成を続けていくのであれば、指導者の養成の中に学校の先生も入っていると思うが、どの程度学校への介入を考えているのか、そこには校長先生も含めた理解も必要になってくると思うが、そこに対してのアプローチをどうするか、重点年度に対して考えて準備する必要があると思われる。</p> <p>取りとめのない話になっているが、去年、一昨年と見ていて、学校体育や学校スポーツ、また、それに関わってくるステークホルダーと子どもの関係性の不味さを非常に危惧しているため、具体的なイメージを持っているのか確認したい。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
教育長	<p>部活動については難しい。</p> <p>理由は部活動の体制整備のことや、中学校の部活動に対する教職員の気持ちに差があること。また、指導者を民間へ委託する中で、実際にクラブチーム化しているところがあり、クラブチーム化している多くは、勝利至上主義のエリート養成になる傾向があるため、土日の部活動をどうしていくかといった様々な問題がある。</p> <p>今後、7月の下旬には文部科学省で今後の方針を出すと聞いているため、まずはそちらを注視しようと考えている。</p> <p>もう一つは、土日を民間に委託する場合、実際に業者が参入してもらえるのかというところで、現在、市の状況について再調査を進めているところ。</p> <p>このようなことから、来年度から動くということは難しい状況にある。</p> <p>そのため、今の部活動を中心として、今出来ることを見出していることが現状となっている。</p> <p>二つ目のハラスメント防止については、体育協会と一緒に進めたいと考えている。</p> <p>体育協会においても、指導者の養成として研修会を開催する動きが出ているため、良い講師を呼んでいただき、そこに中学校の部活動の先生も研修を受けていただこうと考えている。</p> <p>教員個々の問題もあるため、情報が入った際には、多く詳細を掴み、校長から指導して頂く等、諸々のケアをしている。</p> <p>そのため、全体的には指導者の養成というところで、その部活の顧問を中心に指導するとともに、個々に対応していくという二つの対策で進めていく。</p> <p>大元として教員の場合は、部活ということもあり、子どもをどう捉えてどのように育てていくか、自己満足では絶対いけないと考えているため、そのあたりを今日も打合せしている。</p> <p>今後、何か気になる情報があった場合は、教育委員会へ連絡をいただきたい。</p>
委員	<p>スポーツの指導という文脈と、特別支援やインクルーシブ教育という文脈の中で根幹にあるものは人権であるため、人権というものをスポーツというツールを通して、どのようにして理解を広げていくか、色々な要素がスポーツの中に孕んでいる際に、しっかりと学校の教員がアプローチできてない現状が問題である。</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員	<p>私自身も子ども達の状況や近隣の保護者の話を聞いていても、個々の問題としては捉えておらず、土着の問題がかなり大きいと捉えている、つまり地域文化の問題が非常に大きい為、スポーツというものを競技として捉えている人が、スポーツフェスティバルの中における参加者の比率や興味関心に色濃く出ている。</p> <p>所沢ではそうはなっておらず、広報の方法など違いがあると思うが、30万人都市であったとしても、会場にはこれ以上は入れないほどの人が参加していて、スポーツを障害を持って人と一緒に楽しんでいるようなイベントを、私自身はずっと経験してきているため、その中に、社会教育、社会体育、学校教育や学校体育がうまくマッチングしていない状況が、一部の地域ではかなり強く出ている。</p> <p>それをミスリードしている学校という存在が、現状、カリキュラムとして機能してしまっていて、下手をすると、カリキュラムの中にもそれが分かるような形で残されているものもあるため、私自身は、スポーツというものだけではなく、スポーツを通して育むものと、地域の現状を学校の中において理解を図るだけではなく、保護者にもちゃんと知ってもらう機会や広報活動も必要だと思われる。</p> <p>日本は先生文化であるため、先生と呼ばれる指導者に対して、保護者や子どもが対等な立場でいることができない現状がずっと続いていて、この状況をどのようにして変えていくのかということにおいて、スポーツは非常に大きな価値を持っていると考えられるため、この計画は人の人格を作るものではなく、社会を作るものであるため、もう少し具体性を持った形、現状の中で継続しているもので実現することが難しいものは、積極的に変化を出すことが、今後必要になると思われる。</p> <p>予算よりアイデアだと思われる。現状、その個人の問題に対して、地域、保護者及び行政との間で、意識のギャップがある気がしているため、そのようなところにも目を向けてもらえるとありがたい。</p>
教育長	<p>ご意見のとおり、個々の問題より、学校の活動に対する捉え方が学校の問題、市全体の問題及び競技ごとの問題であると教育委員会としても認識している。</p> <p>今の坂戸市の授業も改善を行っており、過去は「平行四辺形の面積はこのように出す」ということを知識理解中心に教えていたが、現在は「こういう区画整理の図があり、Aの面積とBの面積を比べてどっちが大きいだろう」という形で、片方は平行四辺形、もう片方は長方形になっているという問題が全国学力テストに出てきている。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
教育長	<p>その時求められているのは、課題解決的な知識を身に着けられる授業にしていこうとしている。</p> <p>それと同じように、部活動やスポーツレクリエーションをどのように捉えていくか、まさに「スポーツに親しみ、健やかな心身と絆を育むまち、さかど」へ向けてどう取り組んでいくのかということを実情に考え、試行錯誤しながら評価をしつつ改善して行きながら、本実施計画を示すことで進めていきたいと考えているため、とにかく市民や子どもにとって良いものであるかという発想で、皆で考えていきたいと強く考えているため、今後も様々な意見をいただきたい。</p>
副会長	<p>今アイデアという話があったが、多くの事業を行っている中で、少し視点を変えていきながら、今後の体育やスポーツの発想も今後変わっていくと思う。</p> <p>やる人に合わせてルールや環境を変更していく流れが変わっていくと私も感じていて、時間がかかると思うが、例えばスポーツフェスティバルと一緒にやるというのは、気温の高さに対して、プレイする人たちがそれを勘案しながらやるのではなく、快適に、合理的にするにはどうしたらいいのかを考えていくには、いろいろな意見を聞きながら進めていくことが大切だと思う。</p> <p>二つ目はステークホルダーという話があったが、女子栄養大学も体育館は空調が効くため、少年団等の屋外で活動する子どもが来校し、運動してもらっている。</p> <p>そのようなこともリサーチしながら活用して、皆さんが安心安全で運動ができる環境づくりの一環として、協力できる場所があれば近隣の大学として連携していければと思う。</p> <p>また、昨年パラスポーツふれあい交流会があった際に、学生の手伝いがないかと話ももらったが、ぜひそちらの方も次回はお声がけいただければ、学生にとっても学びの場になるため、一緒にやっていたらと考えている。</p>
会長	<p>私はスポーツフェスティバルの実行委員もやっているが、スポーツフェスティバルは現在まで24回開催しているが、内容がずっと同じような形で行われてきたため、何か考えようと今年は反省会を行った。</p> <p>今は6,000人の参加となっているが、始めた頃は1万何千人という時期もあった。</p> <p>4月29日で連休の間ではあるが、連休に市外へ遊びに行くのではなく、市民で楽しもうという、目標みたいなものがあり、そこに向けて一生懸命やっていた背景もあった。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会長	<p>その背景が、長年続けてきたことで薄れてきているため、どんな方向でもいいので何か考えようと、実行委員へ投げかけているところであり、今日の意見も踏まえ、スポーツ関係者がやればよいということではなく、スポーツは幅広く小中学校や大学が入ったりすることも必要だと委員も考えている。すぐには変わらないと思うが、そういった方向へ向いてきていると思う。</p> <p>もう一点、公民館が地域交流センターに変わった。</p> <p>名前を変える際に、委員会を行っており、その中で委員が地域交流センターに変わる際に、地域交流センターのネットワークを作ってほしいという要望が出ている。</p> <p>福祉、体育や学校等の団体がネットワークを作り、互いに助け合う組織を作ってはどうかと提案を出しているが、少しは進められていると思う。</p> <p>少しずつ現状から抜け出すような状況が生まれてきているという気がしている。</p> <p>体育協会も、今年度、活性化助成費として、1万円を各加盟団体へ支出した。</p> <p>各団体に何も出さないでただ活性化と言ってるだけでは、具体性がないと思ひ、多少でもお金を出し、それを元に少しでも活性化について各団体で検討してもらえば、今すぐ活性化は難しくとも、長い期間でそのような方向へ向いてほしいというところで進めている。</p> <p>そのような状況もあり、色々な事業を確認しながら、委員から意見や提言をもらいながら事務局と検討していきたい。</p> <p>4 閉 会</p>